

山行報告書

報告書作成

2006年11月5日

山名 [山域]	山ノ神ノ頭 ~ 馬ノ鞍峰(台高)	目的と方法	自然観察
登山期間	2006年11月4日(土)	山行形態	夜行日帰り
参加人数	3名		

行動記録

11/3(金) 岩津市民センターP(18:00)===豊田東IC===針IC===杉の湯===三ノ公P(22:40)
 11/4(土) 起床(5:30)===登山口(6:40) - - キノコ股谷分岐(7:40)---山ノ神(9:05、9:15)---地池越(10:05)---馬ノ鞍峰(12:30、12:50)---カクシ平(13:45)---三ノ公登山口(14:45)===入乃波温泉五色湯===針IC===亀山IC===豊田東IC===岩津市民センターP

概念図



日誌

11/3(金) 夕方 早めの出発で 登山口の500mばかり手前の トイレ側に駐車車中にて就寝。トイレはきれいなバイオトイレ。静かで7時間ばかり熟睡。
 11/4(土) 天候晴れ、明るくなるのを待って 登山口に車で移動。駐車場は他に2台。単独の登山者が我々とは 反対側に入山。その後馬ノ鞍峰からの下山中に数人の登山者に出会うのみの静かにして 魅力の山域である。登山口あたりは 紅葉の兆しも殆どない。三ノ公川を渡り 登山開始。いきなり急登が続く。登山道は無きに等しい 小さなふみ跡・わずかなテープ・地図をたよりに登る。P773からP904へと高度が上がるにつれ 紅葉が 少しずつ楽しめるようになる。登りの稜線は 右は杉の植林 左はブナやミズナラの原生林 大小のヒメシャラの木々の間に 紅葉のグラデーションが 続く。ほどなく山ノ神ノ頭(1099m)山頂。この山頂から 一気に北へ進行方向が 変わる。ここは 南への台高山脈の縦走路と間違いやすいので 気をつける。馬ノ鞍峰までは何回かのアップダウンにふくらはぎが のびきっていく感覚。しかし 疲れよりも 貸切状態の趣のある紅葉の景色が 次々に現れるので この眼にカメラに収めるのに 忙しい。シャクナゲ・シロヤシオの大木に 春の花の時期を想像しただけでも ワクワクしてくる。鈴鹿などにも やや似た風情もあるが 奥深さや味わいは 格段の差がある。コウヤマキや梅などの常緑樹が 幾重にも重なる紅葉を引き立てている。お昼過ぎ 予定より早く 馬ノ鞍峰(1077m)に到着。下山道は しっかりした登山道で 道を見誤ることはない。殆どの登山者はこの 馬ノ鞍峰のピストン山行である。テープは うんざりするほど 木々に 新旧のビニールで巻きつけてある。くたびれたテープを 回収しながら下山。雅な山域を裏付けするように 途中 南北朝統一の歴史に絡んだ 三ノ公行宮址もある。多くの手作りの木橋を 渡り充実感のある8時間で 登山口に到着。駐車6台。

感想

この山域は 殆どが大台ヶ原へ足が向く。この山ノ神や馬ノ鞍へ 気持ちこそそられる者は山ヤさんの中でも とりわけ < 玄人 > の眼や舌を持った本物志向なのであろう。今回この山行計画が出されるまで 未知の山であった 記録係としての感想である。山ノ神までは登山道が不鮮明であるので安易に入山するのは危険である。登山口に『遭難捜索費 100万・200万 あなた持ち』と書いた看板があるのは 自覚喚起であろう。